

事務局 岩手県一関市台町48-52
ホームページ <http://www.iwateiwai.com/suikawa/>
e-mail suikawa@iwateiwai.com

※9月14日 2013吸川探検隊を開催しました！



集合場所↑ と 第1観察地点↓→



捕獲した水生生物（ヤゴ 4種）



アメンボ



サカマキガイ



ヒラタドロムシ



ヒル



オタマジャクシ

例年、大きな コイ や ナマズ も捕れるのですが、今年は川の中を歩いていても大物の気配すら感じませんでした。辛うじて小さなギンブナと オタマジャクシより小さなナマズ が捕れました。



アブラハヤも個体は小さく魚影も極端に少なく感じました。例年捕れる場所を網で探しても空振りが多くて残念でした。

ザリガニも捕れたのですがこれも極端に少なく感じました。ザリガニの幼生やアブラハヤと思われる



稚魚も少ないながらも捕れたので繁殖はしている様子です。今年の大雨による増水で流されてしまったのでしょうか？大雨の時の吸川は大きな下水道状態になってしまうのが現状です。



※吸川探検隊の記事が岩手日日新聞に掲載されました！



岩手日日 平成25年(2013)9月18日 (水曜日) (第3欄)

吸川の生き物調査に取り組んだ桜町中の生徒ら



吸川保全に意識新た 市民団体と 桜町中生徒ら 合同で生き物調査

一関市の吸川をきれいにする会と桜町中学校の生徒らによる合同の生き物調査が14日、JR一関駅東口周辺で行われた。吸川の自然と生態系について調べる「吸川探検隊」を実施。水生生物の調査を通して、環境保護の大切さを再確認した。調査には会員と同部の1、2年生ら24人が参加。本流と南豊隆親水公園、同駅東口の3カ所で、初めて参加した小島大輝君(1年)は「生き物の多さに驚いた。身近な川なので、これからも守っていききたい」と話していた。

同会の平澤和則事務局長は「川の生態系は数値だけでは実感できない。実際に川に入り、自分の目で見て子どもたちに自然を大切にする心を育ててほしい」と期待していた。



※一関駅構内の鉄橋下の吸川には何故か？ オイルフェンスが設置されていました。何か事故でもあったのでしょうか？？？

ブラックバス 残念ですが...、今年も捕れました。



大きな口で魚を捕食するブラックバスを解剖する例年胃袋から原型を留めた小魚が沢山出てくるのですが、今年の奴の胃袋は空っぽでした...。今年は大食漢のブラックバスでさえ捕食が難しいほど魚影が少なくなっていたのでしょうか？



吸川に限らず護岸壁は川への行き来を遮断してしまいます。「危ないから近づくな！」では川への関心が薄れてしまいます。ここは数少ない昇降足場が設置↓されている場所

